PAT-NO:

JP401290137A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01290137 A

TITLE:

OPTICAL DISK

PUBN-DATE:

November 22, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ABE, TAKASHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TOPPAN PRINTING CO LTD

N/A

APPL-NO:

JP63120206

APPL-DATE:

May 17, 1988

INT-CL (IPC): G11B007/24

US-CL-CURRENT: 346/135.1

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a disk substrate which is economically advantageous in

cost, has excellent moldability in injection molding, decreases double

refractions and is less cambered under high humidity after formation

reflecting film on one face by using a copolymerized polymer of methyl

methacrylate and styrene as the material of the disk substrate.

CONSTITUTION: The disk substrate on which information pits are recorded is

formed of the copolymerized resin of the methyl methacrylate (MMA) and styrene.

This disk has the good stability at the time of molding, is economically low in

material cost and has excellent transparency. However, this material contains

the styrene system as the copolymer component and, therefore, the bending

strength is weak in terms of physical strength with the disks having ≥150mm

diameter, but the material has the strength sufficient for practicable use with

the disk <u>substrates</u> such as CD-single and CDs (12mm width) which are main

applications and are inexpensively mass-produced. The **optical disk** which has

the excellent moldability, decreases the double refractions, particularly

decreases the camber of the disk formed with the reflecting film on one face

and is extremely advantageous in cost is thereby obtd.

COPYRIGHT: (C) 1989, JPO&Japio

19.00

DERWENT-ACC-NO:

1990-010699

DERWENT-WEEK:

199002

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE:

Optical disk with low prodn. cost - obtd. by

forming

information on disk substrate, forming

reflection film of

aluminium, protecting with acrylic! resin,

etc.

PATENT-ASSIGNEE: TOPPAN PRINTING CO LTD[TOPP]

PRIORITY-DATA: 1988JP-0120206 (May 17, 1988)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

JP 01290137 A

November 22, 1989

N/A

003

N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DESCRIPTOR

APPL-NO

APPL-DATE

JP 01290137A

N/A

1988JP-0120206

May 17, 1988

INT-CL (IPC): G11B007/24

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 01290137A

BASIC-ABSTRACT:

Optical disk is obtd. by forming information bit on a disk substrate, a

reflection film made of aluminium, etc. is formed on it by deposition or

sputter and an acrylic gp. UV curing resin is protection coated on it by spin

coat. The $\underline{\textbf{substrate}}$, which information bit is recorded, is made of a copolymer

of methyl methacryalate (MMA) and styrene.

ADVANTAGE - The disk is applied to CD-single of 80 mm dia. and 120 mm dia..

The disk has improved moulding-ability, less birefringence and less

bend.

Production cost of the disk is low.

TITLE-TERMS: OPTICAL DISC LOW PRODUCE COST OBTAIN FORMING INFORMATION

DISC

SUBSTRATE FORMING REFLECT FILM ALUMINIUM PROTECT

POLYACRYLIC RESIN

DERWENT-CLASS: A89 G06 L03 M13 T03 W04

CPI-CODES: A04-C04; A04-F01A1; A04-F06E4; A11-C02B; A11-C04B1; A12-

B04;

A12-L03C; G06-A08; G06-C06; G06-D07; G06-E04; L03-G04B;

M13-E01;

M13-F;

EPI-CODES: T03-B01; T03-N01; W04-C01;

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Key Serials: 0231 0306 0486 0487 0502 3013 0537 1292 2016 2020 2194

2198 2423

2439 2481 2493 2498 2560 2594 2595 2728 2841 2851

Multipunch Codes: 014 034 04- 055 056 074 077 081 082 143 155 157 158

231 27&

353 359 431 433 437 466 47& 471 473 477 512 516 522 523 634 649 688

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1990-004553

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1990-008095

@ 公開特許公報(A) 平1-290137

®Int. Cl. ⁴

識別記号 庁内整理番号 码公開 平成1年(1989)11月22日

G 11 B 7/24

B - 8421 - 5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

光デイスク 60発明の名称

> 頭 昭63-120206 ②特

223出 願 昭63(1988)5月17日

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内 部 崇 @発 明 者

東京都台東区台東1丁目5番1号 一份出願人 凸版印刷株式会社

1. 発明の名称

光ディスク

2.特許請求の範囲

(1) ディスク基板に情報ピットが形成され、抜情報 ピット面上にアルミニウムなどの反射膜が落着成 いはスパタリングで形成され、鉄反射膜上にアク リル系業外線硬化樹脂がスピンコートにて保護コ ートされてある光学式ディスクにおいて、

情報ピットが記録されたディスク基板が、メチ ルメタアクレリート(MMA) とスチレンとの共重合 樹脂からなることを特徴とした光ディスク。

3.発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、情報が記録された光ディスクに関す るものである.

く従来の技術とその課題>

従来コンパクトディスク (CD) などのあらかじ め情報が記録された光ディスクの基材はポリカー ポネートが使用されている。

すなわち該ポリカーボネートは透明性が良好で、 高温中においてもディスクの反りが変化しないた め、CBなどの片面のみ情報ビットが形成されアル ミ蔗者の反射膜付をしているディスクに使用され ている。

次に両面に情報が記憶されたレーザーディスク の基材として使用されているポリメチルメタアク リレートはディスク成形時の復屈折がポリカーボ ネートに較べて少なく、流動性も良いため、直径 300 mmの大型の光ディスクに使用されている。

ただし該アクリルを基材として用い片面アルミ **蒸着しその上保護コートをしたディスクは高温中** の雰囲気では、競み取り面側からアクリルポリマ - (PMMA) が吸湿し、反射膜面では、吸湿しにくい だめ、ディスクの反りが発生しやすい。

また、このポリメチルメタアクリレート(PHMA) を用いた情報ピットを転写したディスクでは、こ の反りに対処する方法として、情報ピット側にア ルミニウム反射膜を蒸着後保護コートをした後、

読み取り両側にも、水分パリャーなどの無機質のスパッタリングや塩化ビニリデン、エポキシ、繋外線硬化型アクリル樹脂などを薄膜コーティングする方法がある。

しかし、この方法は従来のポリカーポネートを 用いたCDの製作工程と比較すると、工程が増える ため、手間がかかりコストが高くついてしまうの で、低価格化の点で問題がある。

従って現在CDなどの直径150 ■以下の小型ディスクではポリカーボネートが用いられている。

該ポリカーボネートはピスフェノールAとホスゲンの重縮合で合成されるため、ラジカル重合系のポリマーと比較し材料コストが高く溶融粘度も高く、しかも溶融粘度の温度依存性が高いことと、固化速度が速いため従来より大量の光学ディスク基盤を作る方法として射出成形でディスクを複製する方法を用いているが、上記PC材料の特性から復風接が生じやすい欠点をもっている。

<課題を解決するための手段>

本発明は以上の如くの現況に鑑みて為されたも

ただしこの材料は共重合成分としてスチレン系を含むため、物理的強度において直径150 m中以上のディスクでは曲げ強度が弱いが上記主たる用度であるCD-シングルやCB(120m中)の大量に安価に製造されるディスク基盤には実用上十分な強度を有するため、このようなものに対してディスク

基盤材料としての効果が大きい。

ここで表1に示す如く従来のポリカーボネート。 ポリメチルアクリレートと本発明によるメチルメ タアクレート-スチレン共重合ポリマーの性能実験を行った結果を示す。

すなわち本発明によるメチルメタアクレリート ースチレン共重合ポリマーによる光ディスクは複 屈折、成形性、反り、透明性の全ての点で、安定 した性能を有している。 のであり、ディスクの基板の材料をメチルメタアクリレリートとステレンの共量合ポリマーとすることで、上記ディスク基盤を経済的に有利なコストとなり、射出成形での成形性に優れ、且つ復屈接が少なく、片面反射膜形成後の高温における反りが少ない光ディスクを提供するものである。

< 牟柳例 >

本発明の光ディスクはディスク基板に情報ピットが形成され、該情報ピット面上にアルミニウム (1000 人) などの反射膜が蒸着或いはスパタリングで形成され、該反射膜上にアクリル系紫外線硬化樹脂がスピンコートにて保護コートされてあるものである。

そして 抜 情 報 ピット が 記 録 さ れ た ディス ク 基 板 が、 メチ ル メ タ ア ク レ リ ー ト (M M A) と ス チ レ ン と の 共 重 合 相 脂 か ら な る。

このディスクでは成形時の安定性も良く経済的に材料コストも低く、かつ透明性にも優れるため、持に将来大量に製造される直径80mm中のCD-シングルや直径120 mm中のCD用の材料として通する。

光ディスク基盤	材料テスト	復屈接	成形性	反り	透明性
ポリカーボネート	×	* 1 ×	¥ 2 △	0	0
ポリメテル メタアクレリート	Δ	0	0	ж 3 ×	0
メチルメタアクレート - スチレン共 重合 ポリマー	0	0	0	0	0

表 i

- ※ 1 片面情報ゼット転写基盤/アルミ反射膜 /保護シートの 120 mm がのディスクで高 温高温(40 ℃ 90 %)下で 7 Week 後の反り。
- ※2 成形条件でカバーできる。
- ※3 基盤のもつ性質で片面情報ビット 転写基盤/アルミ反射膜/保護シートの 構成では不可→他の物理的方法で対応可 能(反りを防ぐための工程を増やすか、 ディスク同子をラミネートする)

< 効果>

本発明は以上に示す如くであり、成形性に優れた、且つ複屈折が少なく、特に片面反射膜形成ディスクの反りが少なく、きわめて優れたコスト的に有利な光ディスクとなる。

特 許 出 願 人 凸版印刷株式会社 代表者 鈴木和夫